

宇宙総合学研究ユニット NEWS 2017年2月号

宇宙
ユニット



第10回宇宙ユニットシンポジウム（2/11(土)・2/12(日)開催）



過去のシンポジウムの様子



宇宙ユニットシンポジウムのテーマ

宇宙ユニットシンポジウムを2/11（土）・2/12（日）に開催いたします。有人宇宙活動のあり方について、人類が宇宙において今後どのような文明を展開していくのか、学際的な研究をもとに議論を発展させます。また、宇宙に関する幅広い研究・活動を行う人々と一般の方々の交流を重視し、高校生・大学生・大学院生・教員・研究者・民間企業・宇宙関連団体など計72のポスター出展が立ち並ぶ「宇宙研究の広場」を実施します。一般参加の受付をしておりますので、特設ページの申込フォームよりご登録下さい。なお、シンポジウム当日は託児室（別途申込）を設置し、講演については情報保障（日本語字幕）と映像中継（一部のみ）を提供いたします。詳細はこちら（<http://www.ussp.kyoto-u.ac.jp/symposium10.html>）をご確認下さい。

宇宙学 グローバル人材育成のための派遣プログラム

2017年度 第0期募集中！（2/13 17:00 締切）

宇宙学プログラムを受講する大学院生を対象に研究出張費用（上限30万円）をサポートします。

（海外滞在での情報収集・国際共同研究・フィールドワークだけでなく、国内開催の国際会議なども可）
今期の募集は2017年4月1日～6月30日に出張を開始する計画が対象です。奮ってご応募下さい。
詳細は <http://www.ussp.kyoto-u.ac.jp/uchugaku/gakusei.html> をご参照ください。

（※予算配分状況により募集が中止・変更となる可能性があります。ご了承下さい。）

事務補佐員の公募について

宇宙ユニットに関する教員・事務員間の事務連絡・取りまとめ、財務会計システム入力・予算管理、ユニット運営協議会資料準備など、業務全般の事務補助を担当する事務補佐員を公募しております（決定次第締切）。適任の方にご案内いただけますと幸いです。詳細は、宇宙ユニット事務補佐員の公募に関するページ（<http://www.ussp.kyoto-u.ac.jp/etc/170123-jimukobo.html>）をご覧ください。

宇宙学セミナー 2017年2～3月の予定 (学生・研究者対象)

宇宙に興味を持つ学内外の学生・研究者が集い、招待講師が提供する講演を議論のタネとして討論を行い、宇宙開発利用における学際融合的なアイデア創出を行うセミナーです。

ホームページ (<http://www.uss.kyoto-u.ac.jp/seminar.html>) に随時予定情報を掲載します。

日時	内容	会場・備考
2月10日(金) 14:00-15:30	第15回「気候変動予測と持続可能な開発に向けた社会応用」 山形俊男氏(海洋研究開発機構アプリケーションラボ 所長)	北部総合教育研究棟1階 小林・益川記念室
2月24日(金) 14:00-15:30	第16回「宇宙取材現場、ここだけの話(仮)」 林公代氏(宇宙ライター)	理学研究科4号館127号室
2月24日(金) 16:00-17:30	第17回「超小型衛星を使った宇宙科学研究の動向と OPUSAT-IIプロジェクトの紹介」 南部陽介氏(大阪府立大学第3学系航空宇宙海洋系 助教)	理学研究科4号館127号室

その他のイベント予定

日時	内容	対象・場所
2月10日(金) 18:00-20:00 (17:00開場)	京都大学国際芸術フォーラム2017 「奇跡への挑戦 ー未来創成学と宇宙総合学からの展望ー (宇宙ユニット共催) 湯川秀樹生誕110年、京都大学創立120年を記念したフォーラムで、 喜多郎氏(音楽家)による、「古事記と宇宙」のライブコンサートを行います。 また、佐々木閑氏(仏教学者)を交え、新たな「奇跡への挑戦」に向け、 「こころの本質、宇宙と未来の展望」について討論を実施します。	一般向け 京都大学百周年時計台 百周年記念ホール (左京区) 参加費無料・申込不要 (定員500名)

2017年1月31日時点の予定です。最新の情報、各スケジュールの詳細、参加登録についてはウェブサイトをご覧ください。

観光からみた宇宙 ～観光教育研究セミナー2016 Vol.7 報告～

中里真(京都大学 人間・環境学研究所 修士1回生)

観光とは非日常を体験する活動のことです。先日、和歌山大学観光学部主催セミナー『観光からみた宇宙』に宇宙ユニット学生として参加させて頂きました。冒頭の定義からすると、宇宙というフィールドは絶好の観光スポットに間違いありません。この文章を通して、セミナー内容と宇宙観光について私が考える事をお伝えしたいと思います。セミナーは以下の四部構成でした。

- 基調講演「宇宙という新たな体験の場」(山崎直子 元 JAXA 宇宙飛行士)
- 「観光と宇宙：和歌山大学観光学部の取り組み」(尾久土正己 教授(和歌山大学))
- 「分野を超えた宇宙研究：京都大学宇宙ユニットの取り組み」(磯部洋明 准教授(京都大学))
- パネルディスカッション「大学生からみた宇宙」(山崎直子、秋山演亮、中串孝志、梶田太陽、中里真)

山崎直子さんの基調講演について。山崎さんが宇宙に行った時、帰還した時の体験をもとに、宇宙を新たな「体験の場」として捉える考え方を提供して頂きました。宇宙から地球を見ると、地球を見下ろすのではなく見上げる格好になります。その姿は雄大である一方、物体としての地球の存在を肌で感じるそうです。それは頭だけでなく、心身ともに「ストン」と音を立てるように納得がいくそうです。これは体験してみないと絶対分からない感覚です。ぜひ一度宇宙に行ってみてください。

パネルディスカッションについて。「大学生から見た宇宙」というテーマで討論をさせて頂きました。有人宇宙開発についてどう考えているか、宇宙観光の課題は何か、宇宙で何をしたいか、どの星に行きたいかなど、様々な議論が交わされました。その一つに、宇宙観光の大衆化という議論がありました。宇宙というフィールドを観光地にするためには安全やコスト面は勿論、宇宙自体の価値（需要）を向上させる必要があります。そして、宇宙ホテルの移住環境・アメニティグッズの向上や、宇宙環境を利用した新たなスポーツなど、宇宙を大衆化する活動は無数に考えられます。今後は、一般人が宇宙を楽しむという観点も重要であるはずですが、現在の技術で何が出来るかを考えることも大事だと思いますが、現在の技術をどう伸ばすかを想像（創造）する事が大切なはずですが。



観光教育セミナー登壇者の集合写真
(筆者写真中央)

主催 和歌山大学 国際観光学研究センター、観光学部
共催 京都大学 宇宙総合学研究ユニット
後援 (予定) 観光庁

観光教育研究セミナー 2016 Vol.7 in 東京

観光からみた宇宙

基調講演「宇宙という新たな体験の場」
講師 **山崎直子**
元 JAXA 宇宙飛行士、宇宙政策委員会委員 (内閣府)、和歌山大学 観光教育研究アドバンスリーダー・ボードメンバー、同 国際観光学研究センター各員特別研究員

活動紹介「観光と宇宙：和歌山大学観光学部の取り組み」
講師 **尾久土正己** 和歌山大学 観光学部教授、同 国際観光学研究センター研究員

活動紹介「分野を超えた宇宙研究：京都大学宇宙ユニットの取り組み」
講師 **磯部 洋明** 京都大学大学院 総合生命科学研究科

パネルディスカッション「大学生からみた宇宙」
パネリスト **山崎直子** 和歌山大学 観光学部 1年生 **梶田太陽** 和歌山大学 観光学部 1年生
秋山 演亮 和歌山大学 観光学部 1年生 **中里 真** 京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士1年生
和歌山大学 観光教育センター (国際観光教育研究センター) 教授、同 国際観光学研究センター研究員
モデレーター **中串 孝志** 和歌山大学 観光学部教授、同 国際観光学研究センター研究員、Space & Mobility ユニティリーダー

2016 年
12月17日(土) 15:00 ~ 17:30 (受付 14:30 ~)

会場 **フクラシア品川クリスタルスクエア (港南口) 2階 会議室C**
(〒108-0075 東京都港区港南 1-6-41) *JR品川駅港南口/京浜急行品川駅から徒歩8分

定員 **100名** 参加費 **無料** *事前の申し込みが必要です。
裏面をご参照ください。

観光教育セミナー2016 Vol.7 in 東京
『観光からみた宇宙』
(主催：和歌山大学 国際観光学研究センター、観光学部)
(共催：京都大学 宇宙総合学研究ユニット)

宇宙へ行きたい。私がそう考えるとき、高校の野球部で甲子園を目指していた時の感覚が自然と蘇ります。甲子園はテレビや新聞では身近な存在であるが、実際に目指す球児にとっては険しい道のりが待っている。宇宙に関しても同じことが言えます。しかし、この観光セミナーを通じて、宇宙へ行く(と宇宙を体験する)ことがより身近になりつつあることを知りました。宇宙が簡単に目指せる場所、つまり旅行先の候補になる日を楽しみにするとともに、今自分が出来る事を考えていこうと思います。

京都大学 宇宙総合学研究ユニット
<http://www.usss.kyoto-u.ac.jp/>

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 吉田キャンパス北部構内 北部総合教育研究棟 403 号室
Tel&Fax: 075-753-9665 Email: usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp